

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供します。

vol. 23
2018.10.15

西陣 惣いの郷たより



Photo by Fumio Okita

「余白」を容認しない風潮となつてゐるような気がするのは私だけでしょうか。この先の人生、余白を大事にしながら生きていくたいと思つています。

ひるがえつてみれば、この人間社会にも「余白」が存在するのではないでしょか。社会の「余白」を一人ひとりが認識することで、たとえば国と国、人と人の間での争い事やいがみ合いなどが解決されるよう思えてなりません。しかし残念ながら、昨今の社会が

先生はたくさんのお子供たちを治療されるなかで、低体重で出生となつたお子がいろいろな医療処置に耐えそれでも遺伝子の強い支えを借りて決められるとおりに着々と育っていく様子をたびたび経験されました。先生曰く、遺伝子のシナリオは両親から受け継ぐが、そこには「余白」がある。この「余白」のおかげで「個性」が生まれ、環境や努力によって修正もきく。だから細かいことを気にせず、ありのままの子供を信じて、思いきり大切にしてあげてほしいと。私はこの記事を読んだとき、遺伝子のシナリオの「余白」について大変考えさせられました。そして自分の子供に対し、ついついせっかちになって結果をすぐに求めてしまつた態度を反省いたしました。

過日、新聞記事で東京のある大学病院の小児科の先生の言葉が紹介されていました。



理事長 相馬 隆人

「余
白」



100歳のお祝い

京都市と京都府の職員の方が
お祝いに来てくださいました。

乾隆まつり

乾隆学区のお祭りへ行って
きました！



太鼓やダンスなどの舞台も
盛り上がっていました♪

特別養護老人ホーム 西陣憩いの郷 行事のご報告

平成30年7月から9月

地蔵盆

町内の地蔵盆にお参りさ
せてもらいました。



夏祭り



流しそうめんやゲーム
など、各階で企画しまし
た！



フォークダンス「すずらん」さん

楽しいダンスを、入
居者の方も一緒に楽
しみました。



行事食のご紹介

栄養課より

サービス向上委員会の紹介

レクリエーション班

私たちレクリエーション班は、季節に合わせてレクリエーションを企画したり、入居者の方々が気分転換出来るようなレクリエーションを考えたり、企画する班です。少しでも楽しみを持っていただけるようなレクリエーションの企画に努めています。

月に1回、班のメンバーでミーティングを行い、レクリエーションの企画について話し合います。今後もいろんなレクリエーションを企画していくうと思っていますので、ご意見等ございましたら、お気軽に声掛けください！

レク班企画の
「出張デパート」。
今後「出張にぎり寿司」「喫茶レク」も予定しています！



自主防災訓練を行いました

ま員参機火散い設ユつ火際後て対は対
7しが加を器水る置ニいの半の応事象今訓
月た。体し使の栓消さツて方初でに務に回練
の。験たつデや火れト、法期は座つ長參はを29
豪し職てモ消用てに各に消実学い、
主8月
トを組み西いの郷では、その取
チーム「第一歩として、介護職員り
トを立ち上
げ、「地域の
こなな活動も始
めました！」



い災
を雨、
きります。
今後は
て防
も対
策を
強化して
防

を身
近に
実感した
夏でした。
21号と
風水害

介護現場の職員が中心になって、入居者の方へのサービス向上の為に活動している「サービス向上委員会」。今回は「レクリエーション班」と「美化・環境班」をご紹介します。

美化・環境班

美化・環境班の主な活動は、洗剤やシャンプーなど日用品の在庫管理・発注、リネン・タオル類の使用状況の把握といった裏方的な内容ですが、どれも入居者の方の生活にかかわる重要な役割だと考えています。また年末の大掃除や加湿器のメンテナンスなども美化・環境班が中心に進めています。入居者の方により良い「居心地のよい生活空間」を提供できるよう美化・環境班で意見を出し合って取り組んでいきます！



地下の日用品は
美化・環境班が
整理整頓して、
職員が使いやすいよう
工夫しています。

地域貢献プロジェクト



ての「地域への貢献」が求められ
ます。昨今、ますます社会福祉法人
の「地域貢献」が求められ
ています。季節の移ろいや環境の変化に応じて
身体を維持するだけでもなかなかむずかし
い高齢の方たちです。そんな皆様が日々穩
やかに安心して過ごせるよう、他のスタッ
フと協力して体調管理のお手伝いをしてい
ます。たった一つの手助けでも喜んでいただ
けたら嬉しいです。

清掃活動を1回、施設の周辺のゴミ拾
いを実施します。至らぬ点もあるかと
思いますが、今までの経験を活かして入
居者様に満足していただける食事提供がで
きるよう、励みますのでよろしくお願ひいた
しです。

平成30年7月7日「七夕」



- メニュー
◆ゆかりご飯
◆七夕そうめん
◆にしん茄子
◆炒り豆腐
◆セタゼリー
- 間食
◆スイカのフルーツポンチ

平成30年6月17日「父の日」



- メニュー
◆新生姜ご飯◆鰯の梅醤油焼き
◆とんかつ
◆ピーマンと平天の山椒炒め煮
◆スパゲティーサラダ
◆味噌汁◆パイン缶

平成30年5月13日「母の日」



- メニュー
◆筍ご飯◆鰯フライ
◆鶏肉の煮物 山椒風味
◆南瓜の甘煮
◆ブロッコリーのサラダ
◆赤だし◆フルーツカクテル

平成30年8月16日「五山の送り火」



- メニュー
◆たらことしめじの混ぜご飯
◆鰯の香草醤油焼き
◆蒸し鶏の胡麻ソース
◆茄子と油揚げの田舎煮
◆玉ねぎといんげんのサラダ
◆オクラと湯葉の清めし汁◆ぶどう缶

平成30年7月20日「土用の丑」



- メニュー
◆うなぎ丼
◆茶碗蒸し
◆キャベツの和え物
◆赤だし

平成30年7月16日「祇園祭」



- メニュー
◆枝豆ご飯◆鰯の梅肉添え
◆鶏肉の照り焼き
◆冬瓜のかにあんかけ
◆夏野菜サラダ
◆そうめんの清めし汁◆キウイ

平成30年6月30日「水無月」



- メニュー ◆水無月

平成30年6月22日「デコレーションケーキ」



- メニュー ◆ケーキ

平成30年5月5日「こどもの日」



- メニュー ◆柏餅

6月1日付で看護主任に就任しました奥村章子と申します。病院勤務を経てここ「西陣憩いの郷」で働くことになりました。入居者の方々と接して私が最初に感じた事は、人が本来持っている生命力の強さです。季節の移ろいや環境の変化に応じて身体を維持するだけでもなかなかむずかしい高齢の方たちです。そんな皆様が日々しっかりと協力して体調管理のお手伝いをしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



看護主任
奥村 章子



看護主任
黒田 由季

職員紹介

看護主任
奥村 章子



京都市下京区で果実の仲卸業をされている株式会社朱常（しゅううつね）分店様から、京都市内の社会福祉施設にバナナのご寄贈をいただきました。当施設にも2ケースを頂戴し、さっそく入居者の方に提供させていただきました。朱常分店様は、昭和34年以来、毎年夏と冬の年2回バナナの寄贈をしてくださつ



ていて、今回でなんと118回目だそうです！

9月11日に行われた受納式では、当施設の塩見施設長が代表して、朱常分店の西廻社長からバナナを受け取らせていただき、ご挨拶をしました。



バナナの寄贈をいただきました！

『マッキンリー山／アラスカ』 表紙写真の解説

マッキンリー山（標高6194m）は北米大陸最高峰で、アラスカ先住民の人々から「デナリ」と言られています。「デナリ」とは「偉大なるもの」という意味で、文字どおり、圧倒的なスケールと雄大な自然を実感させてくれます。双発機による頂上をめぐるフライトで眼前に展開する山容に、シャツターを押すことさえ忘れてしまふほど感動しました。

理事 置田文夫

置田先生素晴らしい写真をありがとうございます！

（担当 西川輝美）

編集後記

今号の表紙の写真は、当法人の開設当初から役員をしてくださっている置田理事に写真を提供していただきました。

「アラスカ」というだけでも驚きですが、双発機から撮影されたとお聞きし、さらにびっくり！これからも、写真で世界旅行ができるかもしがれません！

平成30年度 下半期行事予定



- ★むさし寿し出張にぎい寿司
- ★外食レク（随時）
- ★買い物レク（随時）
- ★音楽イベント
- ★書道レク



- ★外食レク（随時）
- ★買い物レク（随時）
- ★大正琴（11/10）
- ★書道レク



- ★外食レク（随時）
- ★買い物レク（随時）
- ★ハワイアンコンサート（12/16）
- ★クリスマス
- ★書道レク



- ★お正月
- ★初詣
- ★外食レク（随時）
- ★買い物レク（随時）
- ★フォークダンス（1/30）
- ★書道レク



- ★節分
- ★バレンタインデー
- ★音楽イベント
- ★書道レク

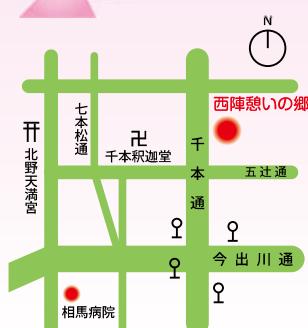


- ★ひなまつり
- ★ホワイトデー
- ★小学生との交流会
- ★音楽イベント
- ★書道レク

ご家族様も一緒にご参加ください。
お待ちしています！

（予定は変更になる場合があります）

◆施設のご案内◆



京都駅方面より…市バス 206・50系統
四条河原町方面より…

市バス 46・59・201系統
「千本今出川」バス停下車徒歩 3分

（お問合せはこちらまで）
〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1
TEL 075-431-1513
FAX 075-431-1514
E-mail:nishijin-ikoi@kitano-kenjukai.or.jp